

進路だより

発行：平成25年10月11日

1 第1回 分野別リレー講義について

10月4日(金)に第1回分野別リレー講義が実施されました。この行事は、Kobeプロジェクトのキャリア学習の一環として実施され、1～3年生にかけて行うインターンシップ学習、3・4年生に実施する神戸大学 day からさらに発展したものです。対象は5・6年生で大学の先生方の講義を受講し、さらにじっくり協議することで、将来の進路希望について見つめ直し、より具体的なイメージを持てる機会となります。また、Kobeプロジェクトで取り組んでいる卒業研究をより学術的に高めるきっかけにもなります。

まず、第1回として神戸大学大学院国際協力研究科の小川啓一先生に講師としてきていただき、発展途上国の教育開発をテーマに、経済学と教育学と国際協力を融合したお話をいただきました。



小川先生は神戸大学に

勤務される前は世界銀行に勤務されており、現在の国際経済について非常に具体的でわかりやすい説明でした。また、今回参加した14名の生徒も積極的に質問し、有意義な時間となりました。この取組はリレー方式で継続的に実施します。次回は神戸大学大学院システム情報学研究所の先生の予定です。

参加生徒の感想を掲載します。

①今回の講義内容について、これまでの自分の意見と違っていた点、賛成できる点、今後の参考になった点。

今までは、独立の原因は各国の文化の違いによるものだと思っていたけど、それは違い、教育、経済によるものだということがわかりました。発展途上国に資金援助をすることは、自国に返ってくるものがあるのだということがわかり驚きました。

今回の講義を受ける前は、教育と経済を結びつけて考えたことがありませんでした。だから、新しい発見の連続でした。例えば、収益率は社会的に見ても私的に見ても最も高く驚きました。女子教育の重要性も知ることができました。

自分の中では教育開発は支援という印象が大きかったのですが、そこに収益が関係し、だからこそ持続が可能だということが印象に残りました。発展途上国の教育開発を支援するのは、それによって選べる職業が少ないことによる貧困の負の連鎖が断ち切れるからだと思っていましたが、それはつまり投資価値があるということでもあるというのも印象的でした。

今までは教育は教育というカテゴリーで独立したものだと思っていましたが、教育と経済に深い関わりがあるという事実には驚きました。世界銀行が各国の教育に及ぼす影響も知ることができましたし、発展途上国への教育支援については非常に興味が深くなりました。

教育支援は決して一方的なものではなく、相互発展の利益を生むものであり、限られた資源や人材の、効果的な運用方法が重要な課題であることがわかりました。この視点に立てば、支援ではなく協力という形で、国際的な経済連携を加速させることができると思いました。

グローバルな視野の必要性を、様々な国際協力の現状から知ることができました。今後、人間形成の仕事に携わる予定の人間として、とても参考になりました。

国によって留年のとらえ方が違うことに驚きました。小学校での読み書き計算などは大切なので、日本でも同じシステムを導入すればよいと思いました。特に印象的だったのが、偏差値を0.1上げるために必要なことと、それにかかる費用についてのグラフです。虫下しや黒板を置くだけの国もあれば、かなりハイテクノロジーな設備が必要な国もありました。将来何らかの形でその差が無くなることに貢献したいと思えます。

世界の広さを痛感しました。自分の見ている範囲の狭さを知り、本当にグローバルキャリア人になるために必要なものの一部がわかった気がします。

高校を卒業してアメリカの大学を修士、博士課程で学ばれた話を聞いて、自分の進路希望が海外の大学なので、非常に役に立ちました。海外の大学では進学後、自分の専攻を決めることができると知り、参考になりました。

教育というのは幅広い意味で、国際的なこともあるということがわかりました。国際的な意味を考えてみると、様々な問題が浮かび上がってきてとても興味深かったです。

②講義をふまえた、今後の進路希望実現に向けての意気込み。

普通では聞けない話が聞けてとても興味を持ちました。今までは日本のことを考えていたけれど、世界もおもしろいものだと思えました。

大変貴重な講義を聞くことができ、今まででは考えなかったことを考えることができました。進路希望とは少し違うテーマでしたが、興味を持つことができ、将来を広くとらえるきっかけになりました。ありがとうございました。

現在、アメリカと日本の両方の国の進学で迷っています。海外に出るのは大変だからという理由で、日本での進学に心が傾いていましたが、少し考え直してみたいと思えます。

これまで考えていた「教育」とは違う視点から「教育」を見ることができました。将来今の教育を変えたいと思っているので、非常に有意義なお話を聞かせてもらったと思っています。

小さくとも経済の一端を担うものとしてグローバルな眼を持ち生活していきたいと思えました。進路に直接関係するわけではないかもしれませんが、これから生きていく糧となりました。

現地に行き、現場を实际見てきた先生のお話は、とても参考になりました。教員になったら、実際に生徒たちと密接に触れ合っていきたいです。

英語が苦手はどうしようと悩んでいる内に5年生にまでなってしまいました。しかし、今回の講義で、これから生きていくためには少なくとも英語はマスターしておかなければならないと再認識しました。

自分の将来のためというより、自分の興味や何か学べることがあるのではないかと思ひ参加しました。直接自分のためになるかはわかりませんが、世界の広さを改めて実感しました。役に立つことがいくつもあったので、自分の将来につなげられるようにしたいです。

教育の経済効果という視点から世界を見たことがなかったので、今回の先生のお話は大変興味深かったです。ますます海外の大学へ進学したいという気持ちが強くなりました。まだ専門分野は決めていませんが、まずは英語力をつけたいと思えます。

今回、より一層、教育についての考え方が深まりました。世界銀行のお話もありがとうございました。